

# は～もにいい

Harmony



主な内容

## CONTENTS

### ■インタビュー特集

●高校生が考える男女共同  
参画社会～理想の家庭とは～

●「農業女子」座談会

■男女共同参画推進事業講演会

■ファミリーサポート推進事業

「は～もにいい」には、「調和」や「和音」という意味があります。男女がお互いに尊重し、支え合い、仕事と家庭のよりよいバランスを考えていくことによって、より心地よくもっと心に響くハーモニーを奏でられたら……そんな願いをこめて本紙に名付けました。



第11号

2020年春号

# 高校生が考える男女共同参画社会～理想の家庭とは～

次世代を担う子どもたちは、男女共同参画について、どのような考えをもっているのでしょうか？県立小高産業技術高等学校を訪問し、2年生11人（男子7人、女子4人）に話を伺ってきました。

## Q. どんな仕事に就きたいですか？

- 男子：テレビ番組（「大改造!! 劇的ビフォーアフター」）を見て、匠のようになりたいと思った。建築関係の会社で技術を習得し、いずれ独立したい。
- 男子：設計の仕事、ものづくりの仕事。
- 女子：商品の企画開発をしたい。
- 女子：理学療法士になりたい。
- 男子：ゲームの影響もあるが、無人航空機を作ってみたい。

## Q. 性別に関わらず興味のある職業は？

- 男子：小さい頃はペットショップ店員に憧れたが、女性の店員さんが多いイメージ。
- 男子：パティシエとか。

## Q. 理想とする職場のイメージは？

- 男子：働きながら技術を学べるような所が良い。
- 男子：仕事と家庭が両立できるような会社。
- 女子：休みなど福利厚生がしっかりしている会社。仕事とプライベートが両立できる。
- 男子：若い人が多い職場が良い。
- 男子：男女比率が同じくらいの会社。

## Q. 将来、どんな家庭を築きたいですか？

- 男子：いつも笑ってられる家庭。
- 男子：居心地が良い家庭。何も言わなくても伝わるような、接しやすい家族。
- 男子：喧嘩しても、気持ちが伝えられる。
- 男子：家族一緒に食事をする時間を大切にする。
- 男子：家族全員、お互いを支え合えるような家庭。





女子：お金に余裕があって笑顔が絶えない家庭。

女子：安心できるような家庭が良い。

男子：お互いの思いをくみ取れるような関係。

女子：夫婦が対等だったら良い。

女子：ストレスなく生活できたら。

男子：共に仕事をし、家事や子育てをし、夫婦平等に楽しく生活したい。

### Q. 家庭と仕事を両立するためには、何が大切だと思いますか？

男子：自ら進んで家事に取り組む。

男子：お互いを思いやって、辛かったらカバーし合う。

女子：家事を頼まれても、嫌な顔をしないで取り組むこと。

女子：パートナーに家事をやってもらってあたり前だと思わないこと。

女子：家事と仕事をともに楽しむことが大事。

男子：必要以上にお互いを干渉しない。

男子：仕事と家庭のバランスを考える。無理をして体調をくずさないように。

### 【高校生が現在取り組んでいる家事】

- ・ 掃除（部屋、風呂）
- ・ 洗濯
- ・ 料理
- ・ 食事の配膳
- ・ 食事の片付け（皿洗い）



#### <取材を終えて>

若い世代が描く理想の家庭は、性別にとらわれることなく、お互いを尊重し、高め合う、そんなステキな家庭でした。年齢・性別…ギャップを感じることはありますが、お互いを理解する努力ができれば、素敵な社会の第一歩になると思います。高校生の皆さんの将来が楽しみです。（酒井委員）

# 「農業女子」座談会

農業における女性の活躍推進という視点から、農業分野で活躍する市内在住の女性3人に話をお聞きしました。



星 華代子さん(原町区)



堀川 美由紀さん(原町区)



遠藤 亜美さん(鹿島区)

## Q. どのような経緯で就農しましたか？

星さん：就農前は会社勤めをしていましたが、父親の還暦をきっかけに実家の農業後継者になるために就農しました。水稻や野菜を栽培して、JAに出荷します。

堀川さん：実家も兼業農家でしたので、農業には携わっていました。結婚を機に、嫁ぎ先が専業農家だったので、今は両親や夫と一緒に農業をしています。現在は法人化して、水稻や野菜を栽培しています。

遠藤さん：もともと農業に興味があり、大学で学んでから実家に就農しました。普段は祖母と2人で作業しており、父も会社が休みの時には一緒に作業しています。水稻がメインで栽培していましたが、今年から野菜作りも始めました。

## Q. 農業に従事して大変だったことや、楽しかったことは？

星さん：農業機械の操作です。機械の種類も多く大変でしたが、今ではコンバインに乗って稲刈りもしています。地域のベテラン農家の方々からいろいろ教えてもらったりして、声をかけてもらえることがうれしいです。

堀川さん：野菜のコンテナなど重いものを持ちたりするのが、慣れるまで大変でした。子どもが小さいので、朝早い作業がある時は祖父母に見てもらっています。直売所で販売している時に、お客さんから声をかけてもらえるとうれしいです。

遠藤さん：農業機械が大きいので扱いが怖いです。家族経営で作業内容が限られていますが、家族で農業ができるのは楽しいし、自分が作ったものをおいしく食べてもらえるとうれしく思います。

## Q. 今後の目標は？

星さん：今は父親を手伝っている状況なので、今後は自立して経営できるように、効率化を考えながら、いろいろと学んでいきたいです。

堀川さん：直売所で米や野菜を販売していますが、お客様から調理の仕方などを聞かれることが多いので、きちんと答えられるように、これからもいろいろ学んでいきたいです。

遠藤さん：耕作の面積を拡大して、いろいろな野菜をたくさん作り、市場や直売所で販売したいです。

### <取材を終えて>

若い三人の農女の方が農業に生きがいと誇りを持ち、やりがいがあり、農業は楽しいと輝いていました。(梶田委員)

農業担い手不足の中、自ら就農を決め、従事し、更なる夢に向かって誇りを持ち、楽しく生き活きと努力されている姿には、心から大きな拍手を送りたい気持ちでした。(畑山委員)

# 男女共生推進事業講演会 「パパの笑顔がしあわせを作る！」



令和元年11月3日(祝)、市民情報交流センターにて、NPO法人ファザーリング・ジャパン東北共同代表理事兼三共ビジネス有限会社代表取締役 竹下 小百合 氏を講師にお迎えし、講演会を開催しました。

イクボス<sup>※1</sup>についての説明をはじめ、家事に附随する細かい作業を挙げるワークショップ、男性が働きながら家事・育児に参加しやすくなるコツや、定期的に夫婦の時間を持つことの大切さ、SNSなどの利用しやすいツールでコミュニケーションを取り合うことが家庭円満につながるなど、日常生活に反映しやすいアドバイスをいただきました。

当日は約30人の市民等が受講し、参考になったとの感想が寄せられました。



## ◆講師からのメッセージ◆

- ・子育ては常に今が旬、楽しんでください
- ・パパ向けの育児本も参考になります
- ・夫婦だけでなく、地域、保育室、団体メンバーなど、みんなで子育てを楽しんでください

## ◇講演会に参加した委員より◇

男性が育休を取得することで仕事が進まないというマイナスのイメージではなく、男性が育児や家事に関心を持つ事で、仕事の貢献度もアップするという事、また、男性が育休を取りやすくするためには、上司や同僚の理解だけでなく、女性自身も意識を変えていかなくてはならないことを学びました。私自身もなるほどと、納得させられるような内容でした。

また、ワーク・ライフ・バランス<sup>※2</sup>については、「会社が与えるもの」ではなく、「自ら取得していくもの」という話は、新しい考えだな、私たちには無かったなど。とても有意義な時間を過ごしました。もっとたくさんの人に聴いてほしかったと感じました。(鹿山委員)

## ◇受講者の感想◇

- ・夫婦のコミュニケーションが大事だということが分かりました。
- ・イクボス研修に参加してみたいと感じました。
- ・子育て中の方に聞いて欲しい内容でした。

※1 イクボス…職場で共に働く部下・スタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、そのことのキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・管理職)のことを指す(対象は男性管理職に限らず、増えるであろう女性管理職も含む)。※出典：NPO法人ファザーリング・ジャパン イクボスプロジェクト公式サイト <https://www.fathering-japan-ikuboss.com/> より

※2 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)…男女がともに、ライフステージに応じて、仕事や家庭、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動を含めた生活スタイルを自らの選択によるバランスで形成すること。※出典：ふくしま男女共同参画プラン(平成28年度改正)より

# 子育てを応援します！ ファミリーサポート 推進事業

## 《ファミリーサポート推進事業って？》

会員同士で支え合う子育て支援のシステムです。子育ての手助けをしてほしい方（おねがい会員）に、子育ての手助けをしたい方（まかせて会員）を紹介し、相互の信頼と合意のうえで、一時的に子どもを預かり、有料で育児の援助を行います。※会員登録制 登録料無料  
詳しくは市ホームページ [https://www.city.minamisoma.lg.jp/portal/childcare/shussan\\_kosodate/2/3598.html](https://www.city.minamisoma.lg.jp/portal/childcare/shussan_kosodate/2/3598.html) をご覧ください。



南相馬市ファミリーサポートセンター（南相馬市社会福祉協議会内）  
TEL 0244-26-5669  
南相馬市原町区小川町322-1 原町区福祉会館

## 男女共同参画関連リンク集

機関・施設名	掲載内容	ホームページ QRコード
内閣府男女共同参画局	男女共同参画とは、主な政策、広報・報道等 <a href="http://www.gender.go.jp/">http://www.gender.go.jp/</a>	
福島県男女共生センター (二本松市)	男女共同参画についての情報、専門図書、 資料などの収集・提供、貸館、相談室の案内等 <a href="https://www.f-miraikan.or.jp/">https://www.f-miraikan.or.jp/</a>	
福島県女性のための 相談支援センター(福島市)	女性が抱える様々な悩みの相談 TEL 024-522-1010 (相談専用電話)、 県内の女性相談の窓口案内 等 <a href="https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21820a/">https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21820a/</a>	
南相馬市 男女共同参画	男女共同参画計画 「は～もにい」バックナンバー 等 <a href="https://www.city.minamisoma.lg.jp/portal/life/danjokyodosankaku/">https://www.city.minamisoma.lg.jp/portal/life/danjokyodosankaku/</a>	

### 編集後記

今回の取材では、令和2年3月に策定される「第3次南相馬市男女共同参画計画」の趣旨・目標を踏まえ、特に男女共同参画の基本目標「女性活躍推進」に焦点を当て取材しました。地域の担い手となる地元高校生と理想の家庭像を話し合うことを通して、すべての人が性別にとらわれることなく個性と能力を発揮し、活躍できる社会について考えました。また、現役の女性農業者への取材を通して、男性就業率の高い分野で活躍する「女性の活躍推進」について考えました。

今回取材にご協力いただいた皆様ありがとうございました。(今野委員)

この情報紙は、南相馬市男女共同参画推進委員会 広報・情報紙部会の委員が企画・編集しました。  
「は～もにい」へのご意見・ご感想などをお寄せください。  
また、地域で頑張っている方、男女共同参画を推進している職場の情報などをお寄せください。

発行：南相馬市教育委員会事務局生涯学習課

〒975-8686 南相馬市原町区本町二丁目27番地

TEL：0244-24-5249

FAX：0244-23-3013

E-mail：shogaigakushu@city.minamisoma.lg.jp



南相馬市ホームページ